

技術文書作成

第13回

掛下 哲郎

kake@is.saga-u.ac.jp

1

第13回の内容

- 文書の骨組みを明確にする
- 文書の企画
- 演習

2

文書の骨組みを明確にする

- その文書は「誰が」読むのか。
- その文書で「何を」伝えたいのか。
- その文書を「なぜ、何のために」作るのか。
- その文書は「いつ」使われるのか。
- その文書は「どこで」使われるのか。
- その文書は「どのように」作るべきか。

3

文書の企画

- 情報を収集する。
- 情報を分析する。
- 主題を絞り込む。
- 最適な表現・伝達手段を選択する。
- 作成方針をまとめる。
- スケジュールと役割分担を決める。

4

演習問題

- 以下の条件を満たす系統的な履修計画(各学期に履修すべき科目の計画)を立案し、その計画が各条件を満たしていることを論証せよ。レポートの長さは1200字程度とすること。
 - 各科目の単位は初回履修時に修得すると仮定する。
 - 知能情報システム学科を4年で卒業すること。
 - JABEEコース(情報システム教育プログラム)の修了要件を満たすこと。
 - 各学期の履修単位数をできるだけ均等にする。
 - 主題科目や専攻外科目はその趣旨に合わせて履修すること。
 - 教員免許状は取得しない。
 - 学科外科目で専門科目(選択科目)を充当しない。
 - 時間割上のバッティングはないものとする。

5

参考資料

- 学生便覧
 - 佐賀大学学則
 - 全学教育センター関係規則
 - 理工学部関係規則
- 理工学部で何を学ぶか
- オンラインシラバス
- 全学教育科目シラバス
- JABEEホームページ

6



演習の基本手順

- 文書のタイトルを考える。
- 節構成を考える。
 - 各節を構成する段落のトピックセンテンスを列挙する。
 - 節のタイトルを考える。
- 節構成に合わせて執筆する。
 - 全体を1200字程度とすること。
 - トピックセンテンスはbfコマンドを使って太字で表すこと。

7



演習課題の提出

- 提出期限: 1月9日(金) 18:00
- 提出場所: 学科事務室横のレポートボックス(No. 1)
- 学術情報処理センターの大中小演習室のいずれかに設置されているプリンタで印刷すること。
- 1月14日(水)4~5校時に面接を行ないます。

8